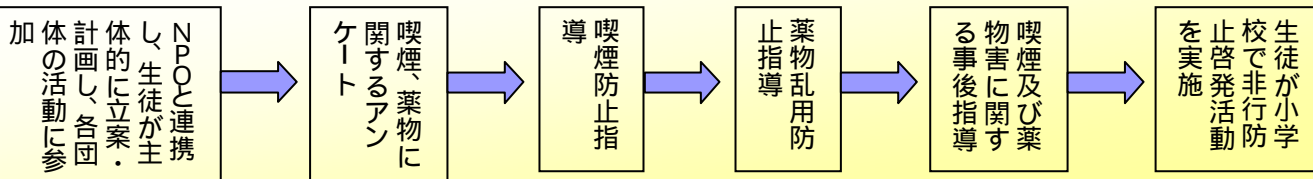


## 事例9 「生徒指導の体系化を図り、充実した非行防止教育を実践している取組（高等学校）」

### 取組のポイント

当該高等学校においては、学習意欲や生活規律に課題を抱えた生徒が多く入学してくる状況がある。そのため、怠学や問題行動を繰り返し、1年次に退学・転学をする生徒が多い。中途退学者を減少させるためには、生徒指導の充実・徹底と同時に、基礎学力の向上にかかわる学校としての体制を確立させ、カリキュラムの改革を図るとともに、社会性の育成を重視し、規則正しい生活や善悪をわきまえる感覚を育てるため、多様な活動を実践した。

### 活動の流れの概要



### 教育課程上の位置付け

- 喫煙防止・薬物乱用防止に関する非行防止教室（特別活動）
- 事前、事後のアンケート（総合的な学習の時間）
- 喫煙及び薬物の害に関する事後指導（保健体育）

### 実施までの経緯

- 生徒指導重点校に指定
- 生徒指導のグランドデザインを設定
- 年度ごとに達成目標を明確化し、目標達成のための具体的な計画を策定
- 例）問題行動の半減、中途退学者の半減を目指すとともに、生活規律の徹底を図る
  - ・服装・頭髪指導やあいさつ運動を行う
  - ・遅刻指導の徹底を図る
  - ・朝の読書の習慣化を図る 等

「生徒指導重点校」（県教育委員会の取組）とは

生徒指導上の諸課題の解決のため、生徒指導重点校を指定し、教員加配や指導主事による重点的訪問指導等を行って取組を支援するとともに、これらの取組の成果を県全体に広げ、全体の指導力の向上を図るモデル校。

### 事前の取組

- ・非行防止教育のコンセプトを設定

非行防止教室や様々な体験活動等を有機的に結び付け、効率的・効果的な指導計画を作成する

- ・事前にアンケートを実施する（非行防止教室の内容の調整や、事後との変化を比べる際に利用）

- ・今までにたばこを吸ったことがありますか
- ・高校生の喫煙についてどう思いますか
- ・あなたは将来たばこを吸っていると思いますか 等



## 非行防止教室 (薬物乱用防止教室等) の開催

### 喫煙防止指導

ねらい

小中学校の頃から喫煙習慣のある者が、学校内外での喫煙等の問題行動を起こしているケースが多い。そのため、毎年1学年を対象に喫煙防止指導を実施し、たばこについての正しい知識を身につけ、生涯を健康に生きる力を養うとともに、他人を思いやる気持ちの大切さについて学ぶ。



事前指導  
アンケート



非行防止教室  
医師の講話



事後指導  
アンケート



項目例

- ・ 未成年者の喫煙の実態
- ・ 受動喫煙
- ・ たばこと美容や老化の関係
- ・ たばこと生殖機能、妊娠、胎児への影響
- ・ 外国における未成年者の喫煙の規制に関する状況

率直に思いが言える雰囲気づくり

時間があれば自分の体験等の具体的な話を交える

### 薬物乱用防止指導

ねらい

薬物に対する正しい知識を学習するとともに、地域社会の中で起こっている具体的な事例を示し、薬物を絶対に使用しないという強い意志や、規範意識を醸成する

- ・ 警察官による非行防止教室

ビデオと講演（視覚に訴え、また、身近な補導例などもあげつつ薬物の危険性について講演する）

必ず抑えるべき点を確認する

- ・ たった一度の使用でも止められなくなる。また、止めてもフラッシュバックなどに引き続き苦しめられること
- ・ 薬物依存になると薬物を買うためのお金欲しさに更なる犯罪を犯してしまうこと
- ・ 薬物のような誘惑にのらないためにも、進路目標を明確にして充実した生活を送ることが大切である



## 本プログラムの活用により期待される効果と留意点

成果

高校入学後、喫煙習慣のある者に誘われ、喫煙を始める者が減少した。  
授業規律の徹底や着ベル指導等により、授業を怠ける生徒が減少した。  
自分から積極的に挨拶する生徒が増えた。

留意点

喫煙防止指導などの問題行動対策に当たって、家庭や地域との連携協力を十分に図る必要がある。

